



No.224

徳地町報

1974、6/5

発行者 徳地町長

編集者 徳地町企画室

印刷所 今置印刷所



雨期にそなえて

復旧工事急ピッチ

昭和四十七年の大災害から二年を経過、復旧工事は最終年度を迎えて各地で急ピッチで工事が進められています。

写真は 奥河内川筋の復旧工事の状況(5/24写す)



写真は 中央小学校で行われた交通安全移動教室の一コマ

(子供向)

きをつけよう
まいにちとおる
みちだけど

(歩行者向)

止まります
待ちます
車のきれるまで

(ドライバー向)

今があなたの
赤信号

あせつて

昭和四十九年
交通安全スローガン

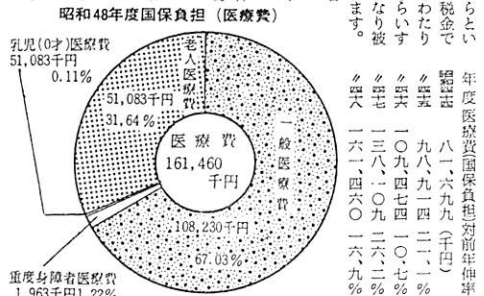
国保だより

お年寄りは病気になるやすく、病気がかかるとなかなか治りたくないので、とかく医療費がかさみがちです。お年寄りがお金のことを心配せず安心して医療を受けることができるようにするため、町では昭和四十七年一月から七十才以上のお年寄りを対象に、保険診療の自己負担分(二割)を県と町で負担していただきます。これがいわゆる老人医療の公費負担制度で、昨年一月からの制度として全町一斉に実施されました。

老人医療と保険

町職一月号でお知らせしているとおり、県保険者救済のため本年一月から、県下一斉に高額療養費支給の制度を実施しています。このように国の福祉施策の推進によって、自然に受診率が高くなっています。また、二月からは医療費の市市を引上げにより、昨年に比べ医療費が相当ふえることも考えられます。同時に保険料も当然引き上げなくては、国保の財政をまかなうことができませんので、保険制度のしくみをご理解のうえ、ご協力をお願いします。

昭和48年度国保負担(医療費)



「農繁期防犯」 「あき果」 「忍び込み」に ご用心

一、農家をねらうドロボーを防ぐには、農家をねらうドロボーを防ぐには、毎年農繁期になると「あき果」や「忍び込み」などのドロボーによる被害がふえてきます。留守宅をねらう「あき果」や「寝込み」をねらう「忍び込み」どちらもカギのかけ忘れたところや、カギの弱いところをねらいます。このようなドロボーを防ぐには、戸締りを完全にすることが第一で、不審な人を見かけたら隣近所お互いに注意しようという心がけが必要です。近いところのたんばだから…… 眼のとくとくところの畑だから……

私の提唱

上村 米田 真治

島地ダム対策について

一、島地川の水温は上村附近において、少なくとも三年間に亘り調査し、ダム建設後の水温低下による米の減収等、補償請求の資料を整理

二、ダム建設後は洪水による濁水が澄まない。このため水産および環境保全、衛生の観点から濁水等を調査し、質と量を把握

三、流水量の測定が園においてな

されているのを、公開してほし(お書き)

一、水温および濁水については、町としても早急にとりあげて調査することにしていきます。

二、流水量の測定は紙面の都合(スペース)で公表できませんが、六月一日より本庁企画室および島地支所において横覧いたしております。(企画室)

連合婦人会の 役員さま

佐波連合婦人会では、先般次のとおり昭和四十八年度の役員をきめました。町では皆さんの活躍を期待しています。(敬称略)

連合婦人会長 原田まつえ
副会長 山田 茂子
副会長 山田サトヨ
副会長 藤村テル子
副会長 山田 茂子
副会長 石川千鶴子
副会長 原田美智子
副会長 田辺 清子
副会長 栗原美津子
副会長 磯村フユエ
副会長 上田ナキヨ
副会長 志賀キク子
副会長 申地区会長 阿部 貴子
副会長 岸本シヅコ
副会長 松田 美枝
出雲地区については決定次第お知らせいたします。

保健婦だより

日本人の死因の半分以上は、脳卒中・がん・心臓病といたいわゆる成人病です。私たちは年を取るに従い、老化という体の変化が起きます。この老化を最も強くあらわすのが、高血圧と動脈硬化で、これらは互いに影響を及ぼします。高血圧とは最大血圧が百六十ミリ以上、最小血圧が九十ミリ以上のものをいいますが、二十歳代・三十歳代の人は最大血圧百四十ミリ以上、最小血圧九十ミリ以上を高血圧と考えた方がよいでしょう。高血圧の人には、正常血圧の人に比べて十倍以上の脳卒中を起しや

血圧測定は定期的

!! 成人病検診!!

その人の体質に合った薬を飲み、日常生活を注意することにより、高血圧の人でも正常血圧の人となら変わらなく、しかも長生きができるようになってきました。自分は健康だと思って一度も血圧を測ったことのない人、また以前に一度測ってもらって高くなか



石ヶ岳(924m) めざして

「あるけ、あるけ」

三谷子供会では、去る5月5日子供の日になんで、石ヶ岳へハイキングを行いました。午前8時30分参加者51名が三谷小学校へ集合、準備体操、班の編成などを行い午前9時30分出発、11時50分山頂到着。昼食をとり、レクリエーションののち午後2時下山を開始、同4時出発点にて解散。

[写真は山頂での一コマです。]

昭和四十九年 就業構造基本調査に 協力

この調査は、七月一日現在でどんな職業に従事して、どのくらいの時間働いているか、仕事を続けているか、仕事についての希望意識をもっているか、また本業や副業がどのようになっているかなど、国民の就業状況について明らかにすることを目的とする指定統計調査で、本町では出雲地区が小古祖上市部、八坂地区が川口部落、島地地区が上村部落のうち、三分の一程度を抽出して調査することになっています。

調査員がお伺いした際は、ご協力をさせていただきます。

母子保健推進運動 標語 募集

「心身に障害のある不幸な子供だけは生まれないうえに」

それは、しあわせを求めるみんなの願いで、不幸な子供を一人でもなく、すこやかな子供が生まれるための母子保健推進運動を展開することになります。

この運動のテーマにふさわしい標語を、次の要領により募集しますので、ふるってご応募下さい。

一、応募者 この運動の趣旨に賛成される方であれば、どなたでも応募できます。

二、作品の内容 (1)よい子を生みまじょうに育て



効果てきめん

「家畜糞尿処理」

初夏ともなれば気温の上昇にともない、畜産農家にとっては、ハエ、カ等の発生とともに、家畜の糞尿処理が悩みの種となります。こうした対策の一環として、このほど才谷において「糞尿、養鶏糞を集めて化学消毒剤の使用試験を行いました。」

この方法はバキュームカー一車(千八百リットル)に対し、薬剤を二四リットル数倍の水にうすめたもので混合し、田畑に散布するものです。

実験の結果はすこぶる良好で、人間の嗅覚ではほとんど感じない

程度となり、今後の家畜糞尿処理に大いに期待されます。

写真は、薬剤によって処理したものの散布作業の一コマ。

昭和四十九年

農作業標準賃金の公表

徳地町農業委員会

農業委員会では、昭和四十九年度の春期農作業標準賃金を次の通り決定したので公表します。これは、あくまで労務賃金ですから、農地あるいは労働力の状況など地域の事情に合わせて、ご利用ください。

いものです。なお、秋期の標準賃金は、おつて決定は九月頃公表することにしてい

〔農 業 標 準 賃 金 表〕

Table with 4 columns: 作業名 (Crop Name), 単 位 (Unit), 標準賃金 (Standard Wage), 備 考 (Remarks). Rows include 一般農作業 (General Farming), 田植作業 (Planting), 田植(請負) (Planting - Contract), 田植(機械植) (Planting - Mechanical), 耕耘(耕) (Tillage), 水稲 苗取 (Rice Seedling Harvest).

昭和四十九年度

山口県職員採用

上級、中級試験

山口県人事委員会では、次によ

山口県職員採用上級、中級試験

山口県人事委員会では、次によ

山口県職員採用上級、中級試験

山口県人事委員会では、次によ

のもの

〔試験〕

試験は二回で、一次は七月二十一日山大教育学部で、二次は八月上旬山口市湯田山泉荘で行われ

なお、くわしいことは山口県人事委員会へお問合わせください。

昭和四十九年度

司書資格取得講習

文部省では、図書館法による司書、司書補資格取得講習を左記に

○場 所 別府大学

○講習期間

司書 7月15日～9月11日

検察審査会の

ご利用を

司書補 7月17日～8月31日 受審料 2万円 司書 1万7千円

検察審査会の

ご利用を

非欺とか、横領、おとし、交通事犯など犯罪の被害にあつて警察や検察に訴へたが、検察官がその事件を不起訴処分(裁判にかけない)にした場合、被害者はその処分が適切でないまま泣き寝入りをしていくことはありませんか

このような場合は、最寄りの検察審査会(裁判所管内にあります)に申し出て下さい。

検察審査会は、検察官がした不起訴処分について申し立てたは

もし不起訴処分が不当だという結論が出た。検察官はこの結論を参考にして、改めて取調へのう

高 嶺 会

山 口 検 察 審 査 会 事 務 局

大 中 祥 生 選 兼 家 次 焼 日 和 の 定 ま り

白 波 の 黒 き ら ち は し 水 温 山 本 源 子

冬 を 澄 む 泉 に 雲 を 告 げ に 中 原 愛 子

夫 として 春 の 傍 に 桃 色 切 石 原 隆

梅 折 れ て 地 球 儀 より 海 へ 山 出 翠

善意銀行

▽二千円 大字八坂字下八坂の末富常司さんから、拾得金の時効後交付されたものを社会福祉のために寄付。

▽五千円 大字三谷字奥谷の原 前次さんから、駐在員手当の一部を社会福祉のために寄付。

▽一万円 大字藤木字下藤木の里田健治さんからご母堂、故マサオさんの香典返しの一部として寄付。

▽三万円 大字上村字蔵場の山田登志さんからご主人、故正元さんの香典返しの一部として寄付。

▽二万円 大字三谷字羽島の青藤トモコさんから、はじめて受けられた老令年金の一部を社会福祉のために寄付。

▽一万円 大字細字下庄方の今田義樹さんからご母堂、故チヨリさんの香典返しの一部として寄付。

▽五千円 大字河内字安海地の出水キクさんからご主人、故助一さんの香典返しの一部として寄付。

記事訂正のお知らせ 五町寺二丁の脱帽人車異動欄で、出發時分を誤植してありました。休巻の誤りでした訂正してお詫びいたします。